

# 大井としひろの活動報告

「おーいブログ」から抜粋



2008年9月14日(日)

## 今年も須磨海岸クリーン作戦に参加



9月14日の日曜日、三連休の間の日に須磨海岸クリーン作戦が開催され、たくさんの市民の方々がお越しになり、須磨海岸のゴミを拾って頂きました。ちっちゃな子供さんからお年寄りまでたくさんの市民の方々の参加がありました。



2008年9月16日(火)

## 次世代LRV(超低床電車) SWIMO-X(スイモ)を視察しました。



9月16日の火曜日、民主党市会議員団の管内視察で、川崎重工業が研究開発している架線・蓄電池併用式超低床電車(LRV)のSWIMO-Xを川崎重工㈱播磨工場にお邪魔して、試験車両に試乗させていただくなど、最新の技術を見聞してきました。

川崎重工が開発中の「SWIMO」は、車載用「ギガセル」電池(※1)を備え、架線を不要とする超低床電池駆動LRVです。

現在、10キロメートル程度は、電池のみで走れると開発担当者の方から説明をうけました。

ちなみに「SWIMO」とは「Smoothな乗降、Smoothな非電化区間への直通運転を達成する(Win)移動手段(MOover)」というコンセプトから名付けられたとのことです。

「SWIMO」は、「人に優しく、地球に優しい。そして、鉄道事業者に優しい」とのことでした。

### ■人に優しい

床と乗降場の段差を極力小さくした、超低床バリアフリー電車で、特に客室の床は全面平坦で、通常床下にある装置類は屋根上に搭載されているとのことでした。

### ■地球に優しい

他の交通機関と比較し、CO2排出量が少ない、地球に優しい乗り物です。

### ■鉄道事業者に優しい

搭載した電池のエネルギーを利用して、変電所から離れた場合等の架線電圧低下に対応できるところから、変電所数を減らし、間隔を広げることが可能に。したがって、メンテナンスを軽減でき、さらに、ある程度の距離を架線からの電力供給を受けずに走行できることから、非電化区間の走行も可能。一部区間で架線のないシステムを実現することができれば、優れた都市景観を作り出すことが可能です。

※1/ニッケル水素電池「ギガセル」は、大容量、高速の充放電に最適な電池で、鉛やナトリウム、リチウムのような有害物、危険物を使用しないことから、環境適合性や安全性に優れるとともに、分解が容易な構造でリサイクル性にも優れているようです。

2008年9月18日(木)  
**第3回定例市会開会**



第3回定例市会が、18日の木曜日10時から神戸市役所29階市会議事堂にて開会し、平成19年度神戸市一般会計歳入歳出決算他、43件が提案されました。

今後、10月24日までの37日間の会期で、平成19年度の一般会計、企業会計他の各種議案を決算特別委員会、常任委員会、本会議等で集中的に審議してまいります。

今回は、平成19年度の決算状況をチェックするのが、大きな議題です。

市民の皆様から頂いた身近な声を神戸市会で代弁してまいりますので、忌憚のないご意見ご要望がございましたら何なりとお申し出下さい。

2008年10月2日(木)  
**建設局決算特別委員会で、代表質問を行いました。**



一部抜粋・要旨

### ■質問・大井としひろ『県民緑税について』

県民緑税については、兵庫県が平成18年度に5年間限定で、災害に強い森づくりや都市緑化を進める目的に創設された。県民緑税が導入された経緯は、平成16年に相次いだ台風で倒木などによる被害が大きかったため、森林保全や防災緑化の財源に充てること狙いとして、個人県民税に年間800円上乗せし、法人も資本金に応じて、2千円から8万円を課税し、5年間で105億円の税収を兵庫県では見込んでいる。

こうした中、19年度決算では、神戸市域の県民緑税の対象事業費が約1.5億円であるのに対して、神戸市民が納めていると思われる県民緑税の納税額が約5億円となっており、納税額に対して、対象事業費が少なく、バランスを欠いていると感じざるを得ないわけあります。

地域の方々と協働でまちの緑化をさらに進めるためにも、県民緑税の対象事業の拡充の必要があると思うが、建設局としてはどのようにお考えかお伺いしたい。また、兵庫県の緑税の特色は、山間部だけでなく建物の屋上、駐車場の緑化など市街地の緑の再生も対象にされている。

今回の都賀川の事故では、ヒートアイランド現象などに起因するゲリラ豪雨が一因として挙げられているが、神戸市としては、ヒートアイランド現象の緩和を行なうため、さらに緑化に取り組むべきであると考えられるが、如何か。

### ■答弁・佐俣建設局長

災害に強い森づくり事業、県民まちなみ緑化事業の2つを対象にして補助をしており、神戸市に対しての補助は委員のおっしゃるように2つの事業をあわせて1億4700万円程度の補助を受けている。トータルからすると、実際に神戸市から上がっている税収に比べると割合が低い。もちろんこれは県下全域の森林を対象にしているため、神戸市域の森林面積の割合が低いことが原因であるが、日ごろから県に対して対象を広げてくれるように18年度以来要望を行っています。具体的な要望としましては、災害に強い森づくりの事業対象をもっと広くしてほしい、補助対象が神戸市域では46haまでしか補助が出ないのでその制限の拡大をしてほしいなどの要望を行っています。

ヒートアイランド対策として学校園を芝生化するなどにつきましては、初期の整備費のみ補助対象であり、維持管理には補助は出ないというような問題もあります。その中で1つだけ改善されたことは、募集期間について、期間が非常に短く、民間団体などは機会を逸することがあったが、年間を通じて応募可能な形に制度改正をしていただきました。

「おーい」と呼んでください。いつでもどこへでもスグにかけつけます。

### ■要望・大井としひろ

高知県では全国に先駆けて「森林環境税」を導入して、08年度からさらに5年間継続されていると聞いています。

兵庫県は、新聞報道では白紙ということだが、現状のまま県民緑税の対象事業の拡充が行なわれないのであれば、以後継続されるべきではなく、神戸市民税で半額の400円程度に抑えて、緑税をとって進めていいのではないか。

神戸市内の緑化がより一層進むような県民緑税の執行を県に要請するよう要望しておきたいと存じます。

### ■質問・大井としひろ『奥須磨公園の整備について』

奥須磨公園では、先般、環境大臣賞をいただいた、「奥須磨公園にトンボを育てる会」や「ほたるの夕べ」、「もりZOOクラブ」など子供たちを対象にした自然観察グループもたくさん活動しており、このような公園内で、授業ができるような場所として使えるようなスペースの整備を行い、神戸市として、公園内での地域活動の支援を行っていくべきと考えられるが、当局のご見解をお伺いします。

### ■答弁・佐々木公園砂防部長

公園内での地域活動としては、「奥須磨公園にトンボを育てる会」による多様な市民活動が行われている。こういった公園内の地域活動への支援は、地域のふれあいの場作りにもなり、公園の活性化にとっても大変重要なことと考えている。建設局としては、事務所より資材の貸し出しや、緑化協会で広報を担当するなどして支援を行っている。

現在、公園の利用活性化については、神戸市公園緑地審議会の活用・運営部会において、来月に提言をいただくことになっている。そういった中で、奥須磨公園のハード面での整備について何がふさわしいか、地域団体ともよく話し合いながら研究していきたいと考えています。

### ■要望・大井としひろ

現在の桟橋では手狭である、とヘラ釣り研究会のみなさんが要望されています。手摺を完全に無くすのは安全面から問題だが、現行の手摺を何箇所か開放し、コの字型に釣り場を設けてはどうかと思う。

この他にも、『妙法寺川の整備について』、『ジャイアントパンダについて』、『下水道事業の経営について』などについて質問いたしました。くわしくは『おーいぶろぐ』に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

2008年10月30日(木)

## 奥須磨公園の小松池で開催された、仲良し鮎の放流の集いに参加しました。



10月30日、今年で23回を数える「仲良し鮎の放流の集い」がNPO法人神戸障害者自立支援福祉協会の主催・神戸へら鮎釣研究会の協賛で、奥須磨公園の小松池にて開催され、地元の議員として参加させていただきました。

地元の幼稚園、保育園の園児も450名招待され、生まれて初めてつかんだ鮎を大きな歓声を上げながら小松池に放流しました。

私は、「生き物や自然を大切にしてね。奥須磨公園の自然を大事にしてね。高齢者の皆さんとフナ釣りを通じて、ふれあいの場となるフナ釣りの学校が、小松池で出来たらいいな」と子供たちにお願いを兼ねて挨拶いたしました。

この奥須磨公園のすばらしい自然をこれからも大切にしてまいります。



2008年10月31日(金)

## 神戸市医療産業都市構想10周年記念式典・シンポジウム開催



10月31日の午後からポートアイランドにあります神戸国際会議場のメインホールにおいて、「神戸医療産業都市構想10周年記念事業」の記念式典およびシンポジウムが開催され、出席させていただきました。矢田市長のあいさつで始まりその後井村裕夫神戸医療産業都市構想研究会会長・先端医療振興財団理事長から「神戸医療産業都市構想10周年新たな成長に向けて」と題して、講演をお聞きしました。

その後、「神戸医療産業都市構想の将来展望について」シンポジウムに移り、最初に田中紘一先端医療振興財団先端医療センター長から「メディカルクラスターの形成と国際連携について」と題して講演がありました。デンマークやフランスの海外からも講演がありました。

パネルディスカッションでは、シスマック家次社長、北中央市民病院長、高井戸大学医学部長、福島先端医療財団参与、宮田日経BP社医療局主任編集委員、をパネリストに西川先端医療振興財団先端医療センター研究所長が座長になって、パネリストから各分野からの視点で提言がなされ、中身の濃いディスカッションが行われました。

大変難しいお話をありがとうございましたが、これからの神戸市の医療産業都市の歩みは着実に歩み続けていることを認識しました。日本国内でも届ける医療産業の集積ができていることも確認できました。今後はこの医療産業がもっと神戸市で雇用を生み出す基幹産業に成長するように私たち議員団も後押しをしていかなければならないと思っています。

2008年11月27日(木)

## 第4回神戸市会開会

年末にかけて、企業の倒産連鎖が起らぬように先手を打つのが政治の務めでないかと思いますが、麻生さんには、その声が届いていないのではないかでしょうか。まさに、裸の王様と化しているいるのではないかと危惧いたします。今日の朝の街頭活動で、まさに麻生さんの「政局より景気」と言われた言質も疑わしいと神戸市民の皆さん、民主党の政権に期待感を持って声援を送っていました。

一刻も早く、日本の国益を考えれば、衆議院を解散し、国民に信を問うことが、國益に叶うと確信しています。政権交代が最大の景気回復策になると私は、確信しています。

このような中、明日から神戸市会は、12月5日までの間、第4回神戸市会を開会します。主な議題は、平成20年度補正予算案ほか、19議案他の議案の審議を明日から行います。ご意見等ございましたら忌憚のない声を大井としひろにお寄せください。お待ち申しています。

### 神戸市会議員 大井としひろの最新活動報告は「おーいブログ」で。



大井としひろ公式ホームページ  
<http://www.kobe-001.com>

おーいブログ  
<http://blog.goo.ne.jp/kobe001>



神戸市会NEWS  
民主党政議員団

神戸市会議員(須磨区)  
港湾交通委員会副委員長

投球  
全力

住みよい須磨の街づくりのために  
全力投球します!!  
**大井としひろ**

